

田んぼの水はどこからくるんだろう？ 水たんけん

水土里ネット南旭川（秋田県南旭川水系土地改良区）主催の水土里ネット施設体験学習会「田んぼの水はどこからくるんだろう？～水たんけん～」が、横手市立境町小学校4年生16名を対象に開催された。今回は、水土里ネットの役職員が講師となり、自分達が住む地域の田んぼの水は、どこからどのように運ばれてきているかを知ってもらおうと、子供たちに施設の役割や水の大切さを教えました。

現地でダムや頭首工など実際の水利施設を見学した子供達は、施設の機能やその迫りに驚きながらも興味深く観察していました。

学校に戻ってから行われた質疑応答からは、児童の身近な用水路を大切に思う気持ちが感じ取れた。また、施設

は田んぼに水を引くだけでなく、自分たちの生活にも大変役立っているなどの発表があり、このイベントを通じて、水の大切さを改めて理解していただいた。

水土里ネット南旭川では今後も、子供達に水の大切さを知ってもらうため、地域との交流を深めながら、こうしたイベント活動を継続的に行っていく予定である。

実施主体：水土里ネット南旭川（秋田県南旭川水系土地改良区）
後援：境町小学校
実施期間：平成16年6月29日



「私たちは、住民と一体となり水や施設の大切さを伝えていきます。」

水土里ネット南旭川
木村 聡

活動実施後の自己評価 水土里ネット南旭川

判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			3. 継続性・発展性について		
① 役職員の理解度	B	役職員の意識が徐々に浸透しつつある	① 継続した活動の展開	A	総合学習での講座等を継続
② 運動の取組体制	B	水土里ネットと関係機関一体で取組	② 運動の着実な発展・展開	B	親子による施設見学などを展開
③ 組合員の理解度	B	一般住民も含め徐々に理解してきている	③ 運動計画の設定	B	係機関と協議しながら計画的な取組
2. 活動の意味性について			④ 運動効果の発揮	B	施設に対する認識向上（アンケート）
① 基本理念の設定	B	多面的機能の発揮、地域一体の農村振興	4. 行政・地域住民との連携について		
② 地域住民への明確なPR	B	各種運動の参加者が増加	① 地域住民・教育機関との連携	B	行政・教育機関との連携強化
③ 持続可能な体制（経費を含む）	B	年次計画を策定	② 積極的な情報発信	B	広報誌等による情報発信
④ 地域の歴史等の伝承	B	小学校の総合学習等で実施	5. 今後の課題等について		
⑤ 本来業務に関した新たな取組	A	積極的な取組を展開	・他地区の取組状況を参考に展開方向を検討していきたい		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他